

# 代表質問

3月定例会では、会派を代表する4人の議員が、年度の予算などについて「代表質問」を行いました。質問者の文責により質問と答弁の要旨を紹介します。  
★詳しい質問内容は、会議録をご覧ください。

## 清風クラブ

数田 俊樹 議員

### 4期目の最終年度を迎えて



### 市長に問う

**問** 近年の社会情勢も踏まえ、本市のかじ取りを行う市長の心持ちを伺う。  
**市長** 市長4期目では「ずっと、選ばれるまち、住み続けるまち」の実現に向け、学校給食センターの開設や海辺の公園「ひらつかシーテラス」の完成など「平塚

市総合計画「ひらつかVISION」に掲げた4つの重点戦略に位置付けた取り組みを始め、人口減少社会において生じるさまざまな課題に真摯に向き合い、将来を見据えた施策を力強く展開してきた。その結果、市内への企業の本社移転や、平成27年から続く人口の転入超過など、さまざま

まな形となって現れている。令和8年度においても、この流れをくみ、任期4年目の仕上げの年として、本市のさまざまな魅力を照らし、まちのにぎわいにつながる施策を着実に進めていく。幸せに暮らすまちの実現に向け、市民と手を携え、全力で市政運営に取り組んでいく。

**問** 首長の立場から、食料品の消費減税による自治体への影響をどのように考えているのか。また、国に対して要望していく必要があるかと考えるが、見解を伺う。  
**市長** 消費税は、地方消費税交付金や交付税など、地方自治体の貴重な財源の一つであるため、介護や保育などの社会保障を支える行政サービスへの影響が懸念される。そのため、多くの地方自治体の首長が国に対し、代替財源を含めた制度の検討を求めている。今後、地方自治体が住民サー

ビスを安定的に提供し続けるために、地方の一般財源総額をしっかりと確保してもらうよう、国に対してはあらゆる機会を捉えて要望していく。  
**問** ひらつかシーテラスの最新の来園者数と課題、今後の展開について伺う。  
**市長** 7年10月にオープンしたひらつかシーテラスは誰もが気軽に海岸に来ることができる海辺の公園として、地元をはじめ市内外から多くの人が来園し、8年2月23日現在で、早くも約31万人を達成した。利用者

からは「海の眺めが素晴らしい」、「海を見ながら散歩できることが嬉しい」といった声があり、多くのメディアに取り上げられるなど、本市のPRにも貢献している。このような想定を上回る来園や反響があることから、今後も継続して市民をはじめ多くの人が本市の海辺に親しみ、本市を好きになってもらえるよう、さまざまなイベントを開催するなど、引き続き魅力アップを図っていく。

**問** 茅ヶ崎市の道の駅はオープンから約7か月で100万人の来場者を達成したと報道があった。更に茅ヶ崎市では周辺の県有地を活用して、駐車場の増設を行い、更なる来場者増が予測されている。本市としては、広域連携の観点から茅ヶ崎市の道の駅との連携を進めていくべきと考え

る。具体的には国道134号を走る公共交通網の強化である。本市が取り組んでいる自動運転バスについては、茅ヶ崎市長の前向きな見解もあり、交通事業者からも強化の可能性は十分あり得ると聞いている。茅ヶ崎市の交通事業者と協議の場を設けることについての見解を伺う。  
**都市整備部長** 現在、茅ヶ崎市の道の駅や、バス事業者と連携の予定はないが、湘南エリアにおいて特定のエリアに観光客が集中するのではなく、両市の施設が新しい選択肢となり、このエリアを盛り上げる魅力ある存在となるよう努めていきたいと考えている。  
**問** 広域連携について、協議の場を設けることへの考えを再度伺う。

### 市議会ホームページ

市議会に関する情報は、市議会ホームページからご覧いただけます。



## 公明ひらつか

石田 美雪 議員

### もっと住み続けたいなるまちへ



**問** 市民の暮らしや事業者の経済活動を守るため、切れ目のない物価高騰対策が必要だが、財政調整基金の活用について伺う。  
**市長** これまで国の地方創生臨時交付金や財政調整基金を活用しながら、本市独自の支援策を適時適切に実施してきた。今後もあらゆる財源を活用し、きめ細やかな対策を、迅速かつ切れ目なく講じていく。

**問** 投資的経費について、前年度比32%の減額となっている理由を伺う。  
**市長** 令和7年度に大型事業の整備が完了したことに伴い、前年度と比べて大きく減額となっているが、平塚市公共施設等総合管理計画や、個別施設計画に基づいた(仮称)土沢認定こども園整備事業などの投資的経費のほか、必要な施設修繕費などを計上している。

**問** 産前産後の切れ目のない支援体制を強化するため、産後ケア事業の利用期間の延長などが拡充された。産後ケア事業の利用料金が近隣市町と比べ高いという課題があるが、利用料金の引き下げ及び委託料の引き上げについて伺う。  
**市長** 利用料金や委託料については、期間延長後の利用状況を見ながら、慎重に検討していく。

**問** 産後パパ育休取得応援交付金の見直し内容を伺う。併せて、父親の心身のケアやサポートの視点を取り入れた取り組みが必要と考えるが、見解を伺う。  
**市長** より長期の男性育休休業取得を後押しするため、生後6か月以上取得した人には15万円、生後8週以内には28日以上取得した人には5万円を交付する。また、父親の心身のケアやサポートは、今後予定しているアンケートなどで引き続きニーズを把握し、支援の方向性や適用できる事業について研究していく。

**問** 産後パパ育休取得応援交付金の見直し内容を伺う。併せて、父親の心身のケアやサポートの視点を取り入れた取り組みが必要と考えるが、見解を伺う。  
**市長** より長期の男性育休休業取得を後押しするため、生後6か月以上取得した人には15万円、生後8週以内には28日以上取得した人には5万円を交付する。また、父親の心身のケアやサポートは、今後予定しているアンケートなどで引き続きニーズを把握し、支援の方向性や適用できる事業について研究していく。

として尊重し、支援すべき存在であることの理解を広く求める、ケアラー支援条例を策定することについて、見解を伺う。  
**市長** 条例を制定する自治体が増えているため、情報収集に努めていく。

**問** 平塚駅周辺地区のにぎわい創出について、駅前商業施設内に中央図書館の分館や中央公民館休館中の代替利用を調整しているが、駅前商業施設と公共施設の複合化も視野に入れているのか。また、本市の顔であるJR平塚駅のイメージアップや、利便性向上をJRと連携して進める必要があると思うが、見解を伺う。  
**市長** 女性の支援はこれまで関係機関と密に連携し、さまざまな制度や施設の活用を図っている。市内での宿泊など、一時的な避難に対応する制度の検討も進めていく。

**問** 2040年に向けた新たな地域医療構想について、これからの平塚市民病院の方向性を伺う。  
**副院長兼事務局長** 高度急性期医療を担ってきた実績に加え、救命救急センターを有し、8年度からは地域がん診療連携拠点病院に指定されている。急性期拠点機能を担う病院として体制整備を行っていく。

と、選ばれるまち、住み続けるまち」の実現に向け、学校給食センターの開設や海辺の公園「ひらつかシーテラス」の完成など「平塚

まな形となって現れている。令和8年度においても、この流れをくみ、任期4年目の仕上げの年として、本市のさまざまな魅力を照らし、まちのにぎわいにつながる施策を着実に進めていく。幸せに暮らすまちの実現に向け、市民と手を携え、全力で市政運営に取り組んでいく。

ビスを安定的に提供し続けるために、地方の一般財源総額をしっかりと確保してもらうよう、国に対してはあらゆる機会を捉えて要望していく。

として尊重し、支援すべき存在であることの理解を広く求める、ケアラー支援条例を策定することについて、見解を伺う。

女性の支援はこれまで関係機関と密に連携し、さまざまな制度や施設の活用を図っている。市内での宿泊など、一時的な避難に対応する制度の検討も進めていく。

新たな地域医療構想について、これからの平塚市民病院の方向性を伺う。

高度急性期医療を担ってきた実績に加え、救命救急センターを有し、8年度からは地域がん診療連携拠点病院に指定されている。急性期拠点機能を担う病院として体制整備を行っていく。

体制整備を行っていく。